

日時: 平成22年8月22日(日)9:00~17:00

場所: 佐土原町総合文化センター、宮崎海岸現地

第9回宮崎海岸市民談義所

資料目次

1. 宮崎海岸の概要
2. 宮崎海岸における2つの考え方
3. 談義のルール
4. 侵食対策検討の流れ
5. 本日の談義所開催の目的
6. 午前の部資料（現地視察箇所 他）
7. 午後の部資料（談義の流れ 他）
8. 今後の予定等
9. 参考資料

国土交通省 宮崎河川国道事務所
宮崎県

宮崎海岸の概要

「宮崎海岸」とは

2



宮崎海岸の侵食状況(レストハウス前)

3

昭和60年
(1985年)

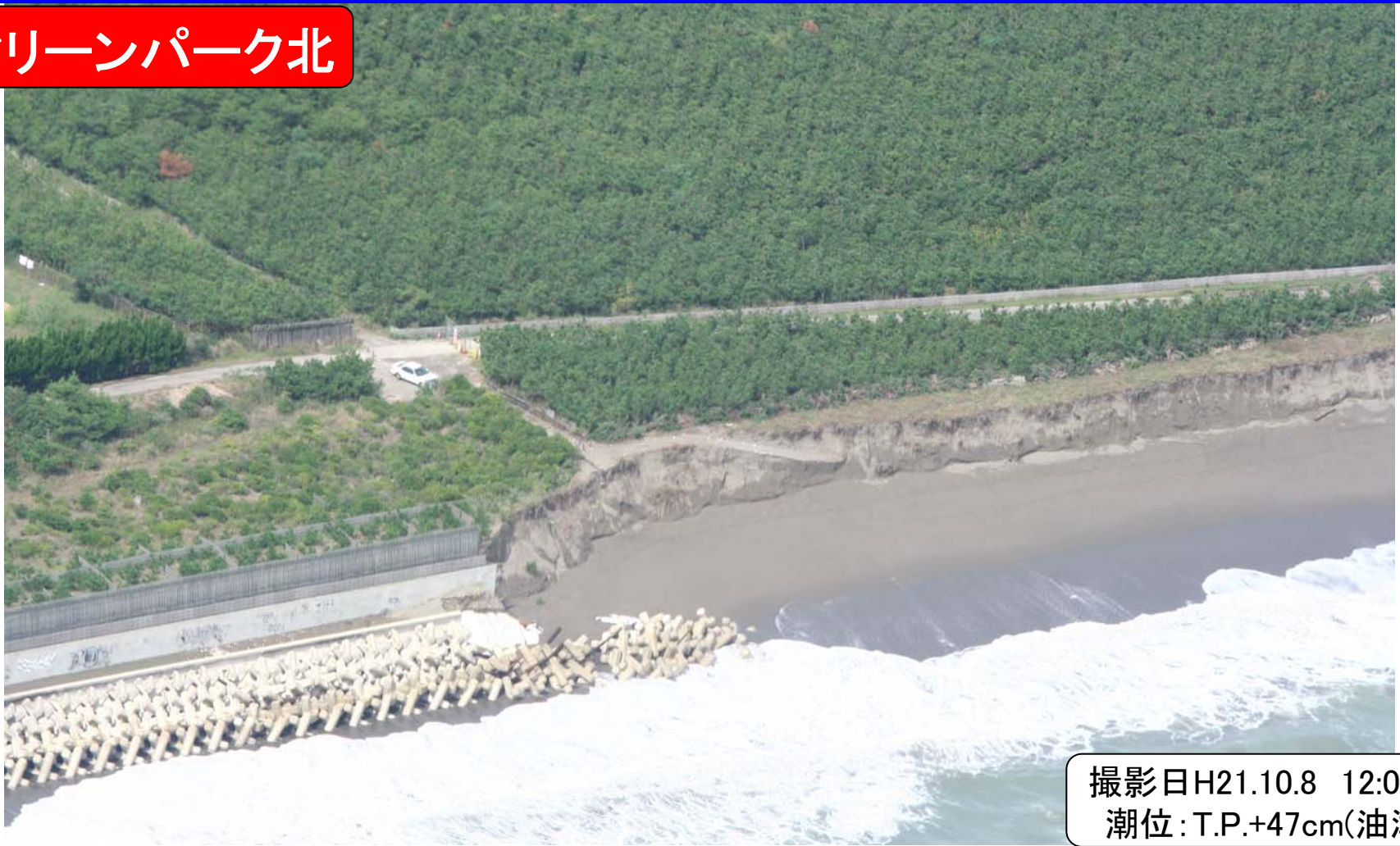


平成20年12月
(2008年12月)

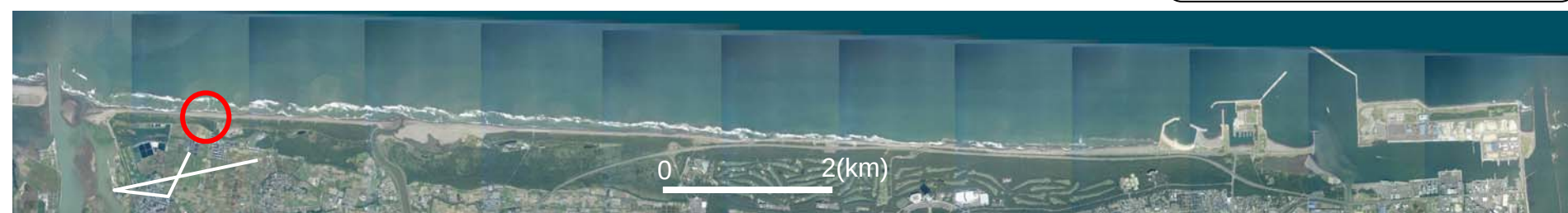


台風18号通過後の宮崎海岸の様子①(21.10.8) 4

1.クリーンパーク北

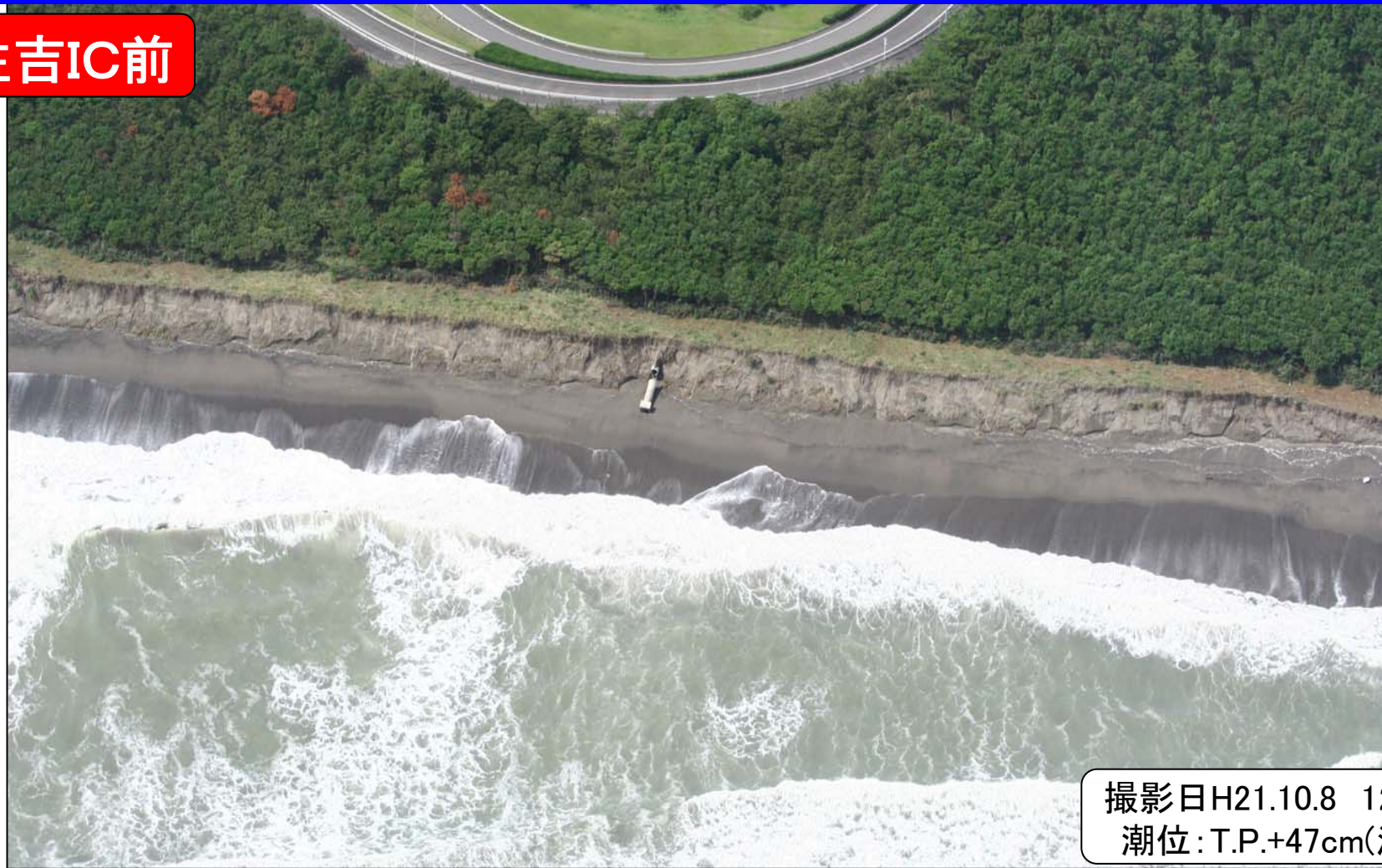


撮影日H21.10.8 12:00頃
潮位:T.P.+47cm(油津)



台風18号通過後の宮崎海岸の様子②(21.10.8) 5

2.住吉IC前

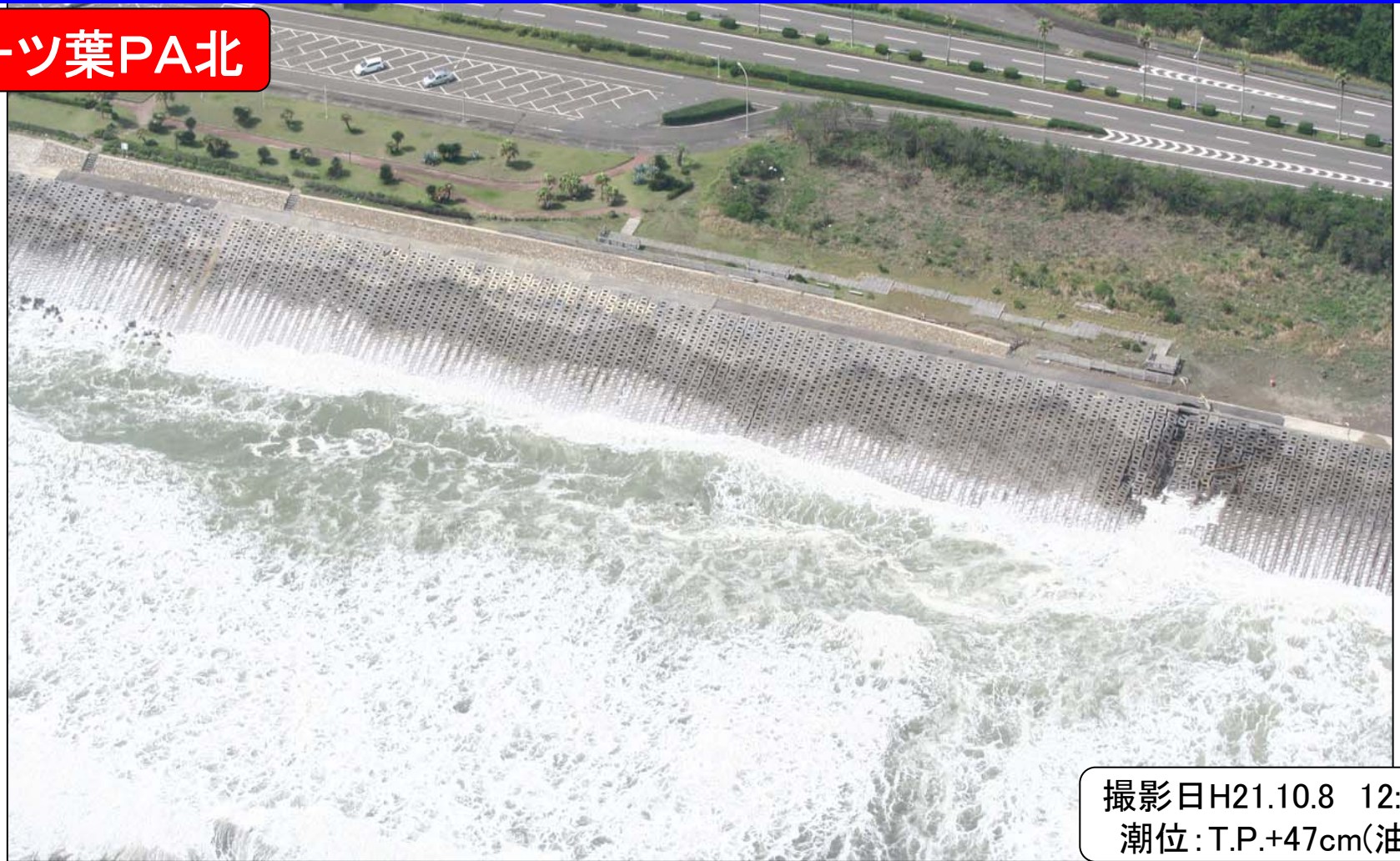


撮影日H21.10.8 12:00頃
潮位:T.P.+47cm(油津)



台風18号通過後の宮崎海岸の様子③(21.10.8) 6

3.一ツ葉PA北



撮影日H21.10.8 12:00頃
潮位:T.P.+47cm(油津)



多くの人々に利用されている宮崎海岸

7



多様な生物が生息する宮崎海岸

8



コアシサシ



アカウミガメ



カワグチツボ



ハマゴウ



ネコノシタ



コウボウムギ

宮崎海岸における2つの考え方

(1) 宮崎海岸トライアングル

(2) 宮崎海岸ステップアップサイクル

行政・市民・専門家、三者一体となって考える

[事業主体] ↔ 関係機関

[宮崎海岸出張所]
(海岸よろず相談所)

- ①市民からの意見をしっかりと受け止める
- ②市民のなかに出向き意見を聞く

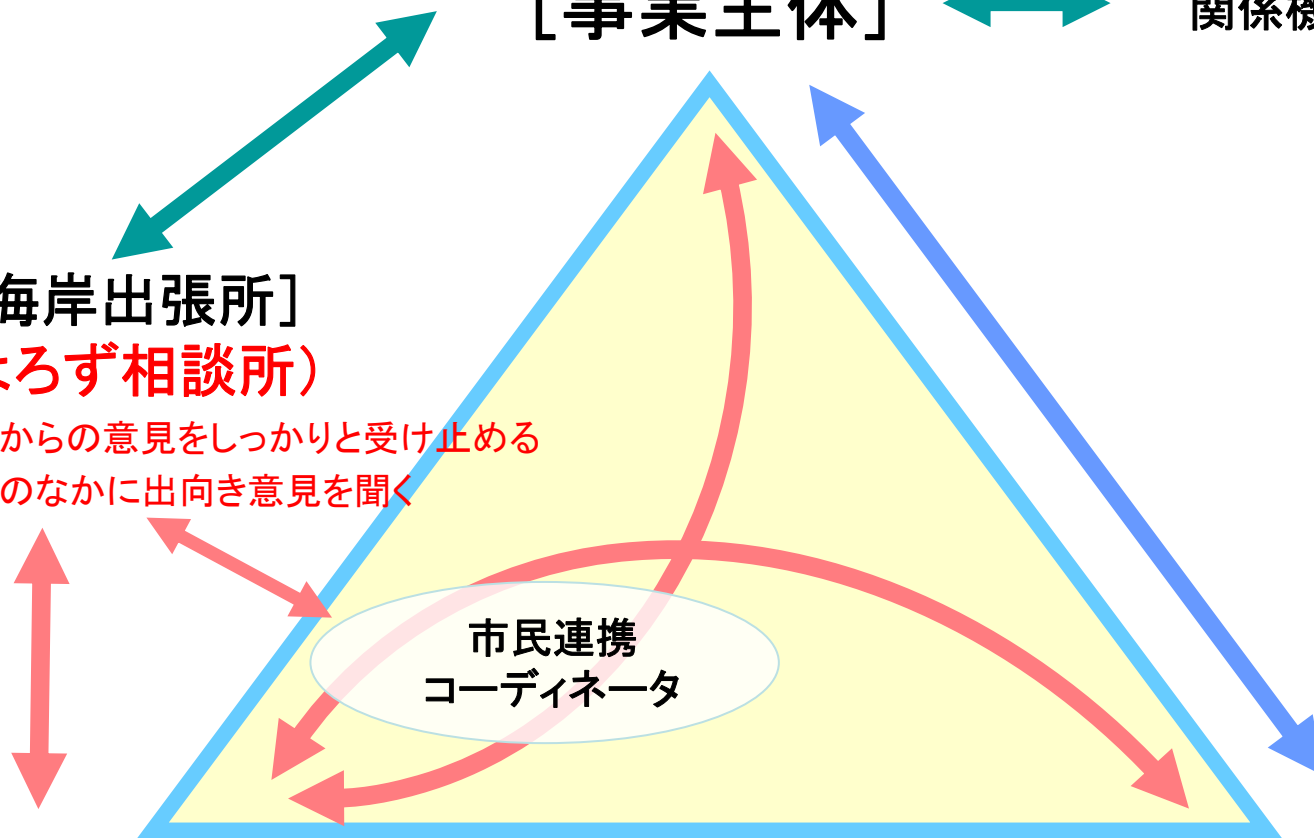
市民連携
コーディネータ

【市民】

“宮崎海岸市民談義所
(広く開かれた議論の場)”

《専門家》

“侵食対策検討委員会”
“技術分科会”



事業主体

市民からの多様な意見を反映した案(複数)を専門家に提示し、検討を依頼する。また、専門家からの助言をもとに、**責任ある意思決定**をする。

専門家

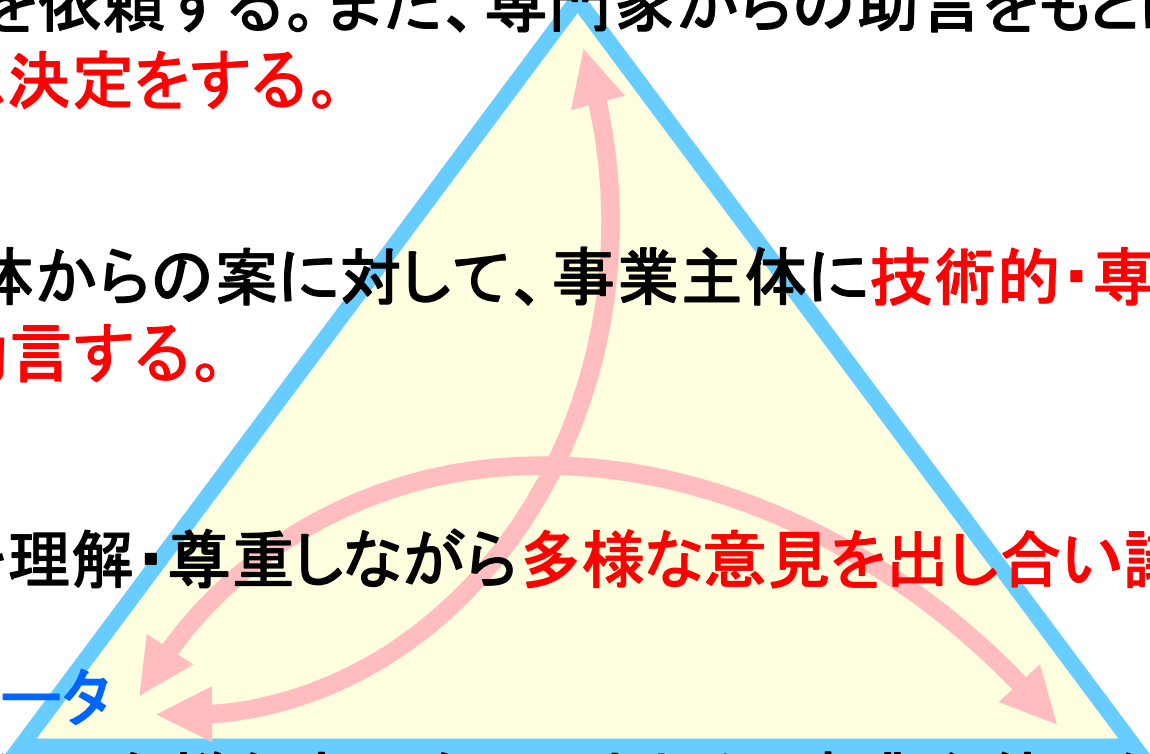
事業主体からの案に対して、事業主体に**技術的・専門的な立場**から助言する。

市民

お互いを理解・尊重しながら**多様な意見を出し合い議論を深める**。

コーディネータ

市民からの多様な意見を取りまとめ、事業主体に伝える。また、事業主体が専門家に正確に伝えているか、専門家がきちんと検討しているか**中立・公正な立場からチェック**する。



【目的】

お互いを理解・尊重しながら多様な意見を出し合い議論を深める。

【役割と機能】

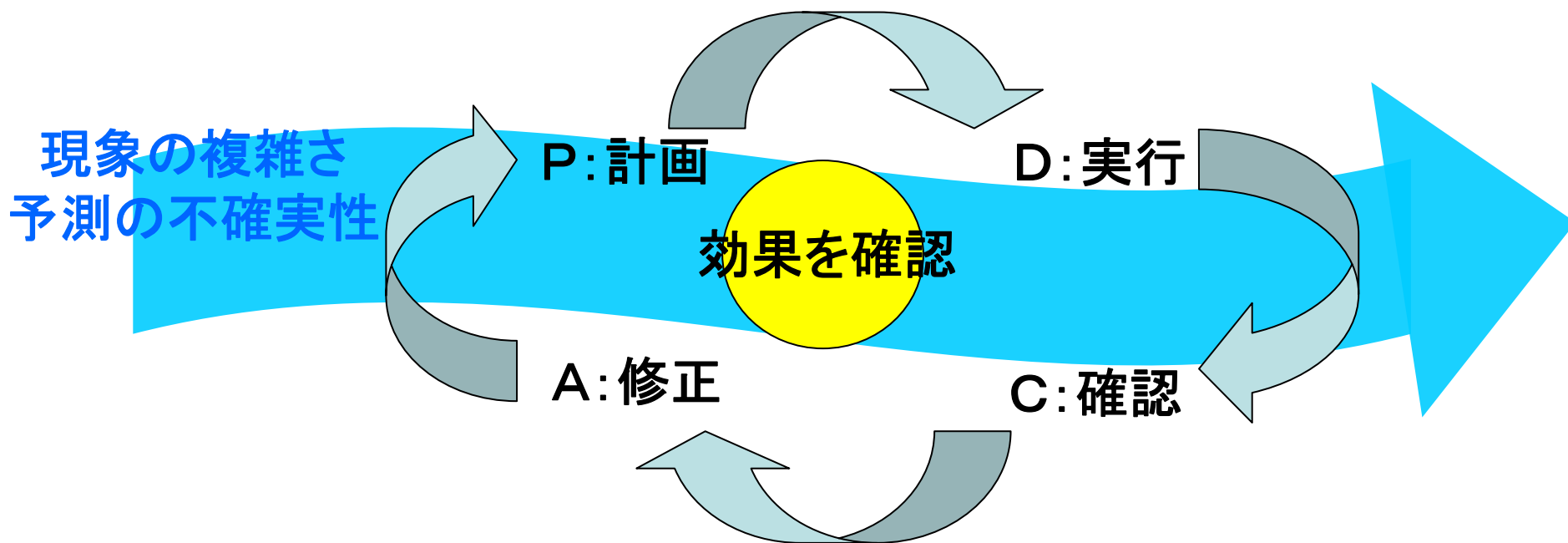
- ①多様な意見をお互いに認識し、知識・情報を共有する
- ②市民と行政のコミュニケーションを充実する
- ③市民がお互いに納得できる、手段を含めた方向性を見いだす

宮崎海岸ステップアップサイクル

13

自然現象の複雑さと社会環境・自然環境の変化に対する未来予測の不確実性を踏まえ、

どのような方法をとればよいかを検討・実施し、その方法の効果を確認しながら、修正・改善を加えて、対策を着実に進めていきます。



談義のルール

- 「〇〇(お住まい、所属)の〇〇(氏名)」を名のって発言する
- 発言時間2分/回(多くの意見をいただくための目安)
- 勉強会ルールを尊重

○ルール

- ・誰かを悪者にするということはない(前向き議論をするため)。
- ・糾弾というやり方はしない。
- ・参加者が自主的に企画する小さな勉強会等の情報を告知(チラシの配布など)は構わない(意見が異なるためこの場で配布してならないということはない)。

○司会者の役割

発言者(説明者や質問者)が誰かによらず、分かりやすくするために、説明が足りない等の要求や積極的に質問する事はある。しかし、いろんな事を解説することはない。

多摩川流域では、平成4年に開催された三多摩東京編入100周年記念イベント【TAMAらいふ21】のとき、「湧水・崖線研究会」が開催され、多くの市民や行政が集った。このときの会議で、「3つの原則、7つのルール」が誕生した。

『3つの原則』

- ①自由な発言、②徹底した議論、③合意の形成

『7つのルール』

- ①参加者の見解は所属団体の公式見解としない
- ②特定個人・団体のつるし上げは行わない
- ③議論はフェアプレイの精神で行う
- ④議論を進めるにあたっては実証的なデータを尊重する
- ⑤問題の所在を明確にした上で合意を目指す
- ⑥現在係争中の問題は客観的な立場で事例として扱う
- ⑦プログラムづくりにあたっては長期的に取り扱うものと短期的に取り組むものを区別し実現可能な提言を目指す

侵食対策検討の流れ

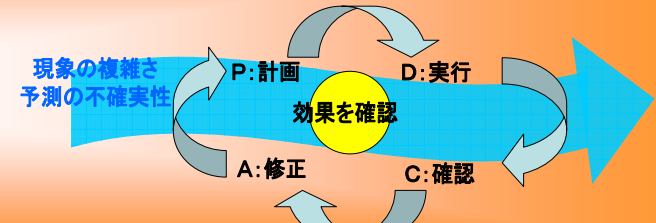
ステージⅢ 《ステップアップサイクルの実施》

- ①: 市民と専門家で談義し、ステージⅢの目標を共有
- ②: 第2次工法の効果の調査
- ③: 第2次工法に修正・改善を加えて、対策を着実に推進

ステージⅡ (H22～) 《ステップアップサイクルの本格運用の開始》

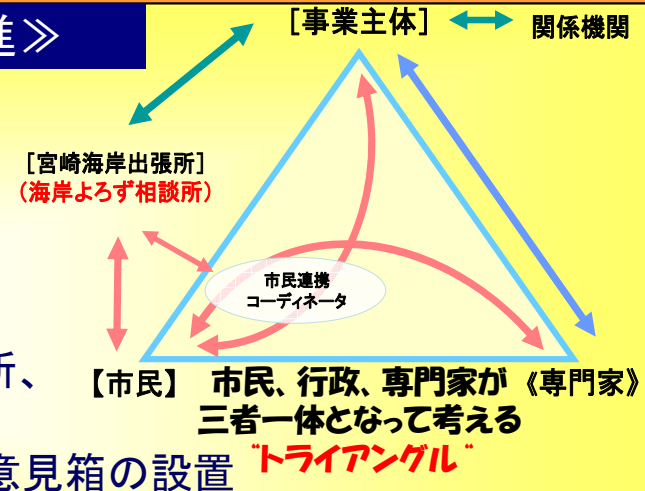
- ①: 市民と専門家で談義し、ステージⅡの目標を共有
- ②: 技術検討と市民との談義を実行し侵食対策を検討、計画
- ③: 侵食対策の検討、計画を踏まえた第2次工法を決定
- ④: 第2次工法に着手し、ステップアップサイクルを開始

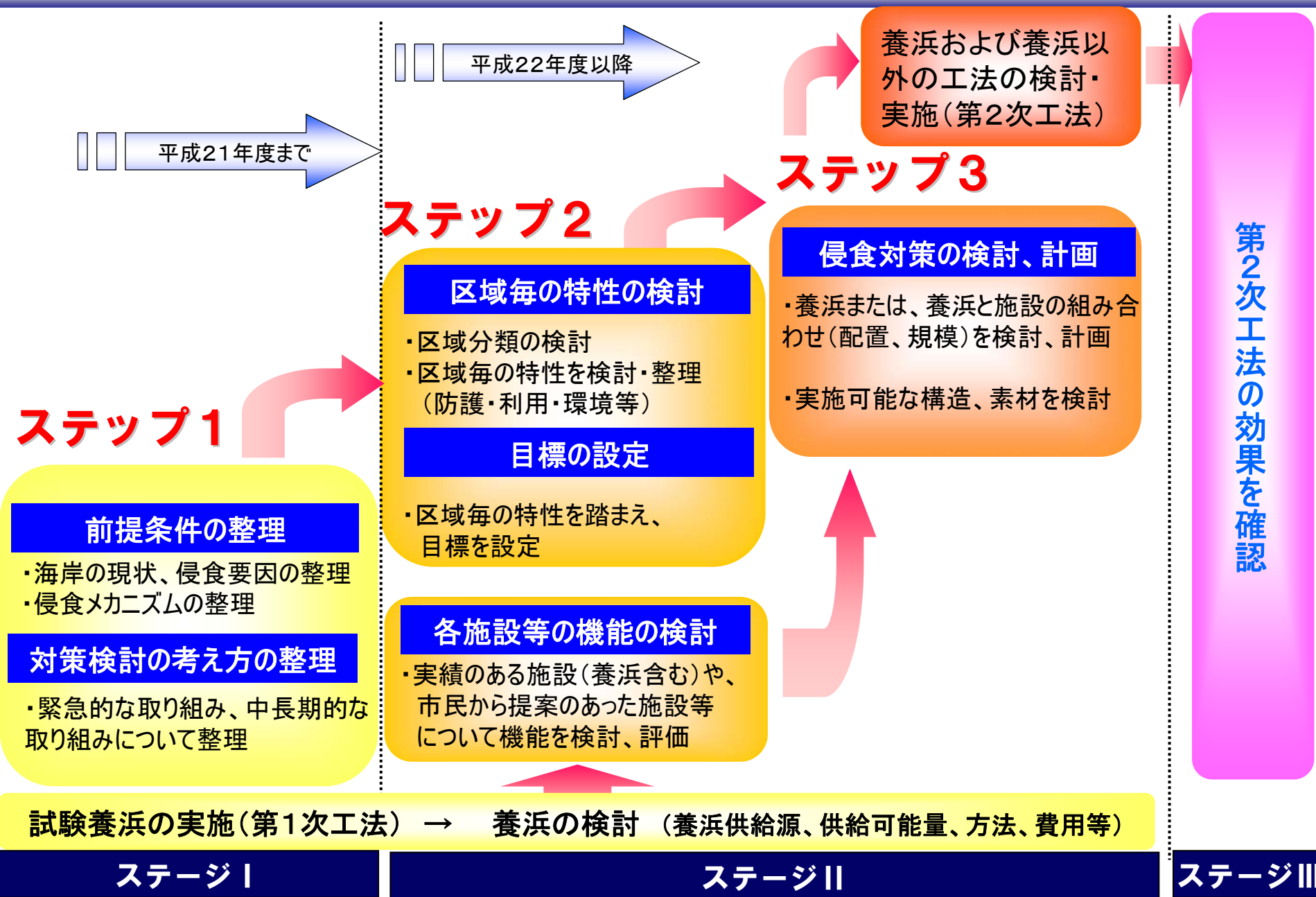
対策を着実に進めていく
“ステップアップサイクル”



ステージⅠ (H19～) 《技術検討への多様な参加の推進》

- ①: 事業推進の考え方(方針と体制)の確定
⇒トライアングル、ステップアップサイクルの構築
- ②: 事業の推進体制の構築、共有
⇒侵食対策検討委員会、同技術分科会の設置、開催
⇒(仮称)住吉海岸懇談会、海岸勉強会の設置、開催
⇒市民連携コーディネーター、市民談義所、海岸よろず相談所、宮崎の海岸をみんなで美しくする会の設置、開催
⇒ホームページの公開、海岸よろず相談所だよりの発行、ご意見箱の設置
- ③: 技術検討と対策の実施
⇒海岸の現状(防護・環境・利用)の把握・侵食要因の調査・整理、メカニズムの検討
⇒試験養浜(第1次工法)の実施、効果の調査、改善





本日の談義所開催の目的

《経緯》

これまでの談義所や分科会での提案を受けて
合同談義所を開催します。

《目的》

今後の侵食対策に関する議論を進めるため、

- ・市民と専門家、行政関係者が一緒に海岸を歩き、現地・周辺状況を把握します。
- ・現在までの技術的な検討内容（侵食のメカニズムや対策の方向性）について専門家から説明を受け、三者で意見交換を行います。

午前の部

現地視察箇所











意見募集

「現場を歩いての感想・気づいたこと」

【赤色の付箋紙】

- ☐ **現地を歩いての感想、気がついたこと**
- ☐ **氏 名**

を記入して、付箋紙を地図の該当箇所
(具体的な場所)に貼ります。

午後の部

談義の流れ

1. 宮崎大学 村上准教授 講演

2. 意見募集

「専門家への質問、知っておいてほしいこと」

(休 憩)

3. 市民と専門家との談義

4. 今後の予定等

宮崎大学 村上准教授 講演

※資料は別途、午後の部で配布

意見募集

「専門家への質問、知っておいてほしいこと」

【青色の付箋紙】

☐ 専門家への質問、知っておいてほしいこと
☐ 氏 名

を記入して、付箋紙を模造紙に貼ります。

市民と専門家との談義

「募集した意見への回答」

「意見交換、質疑」

今後の予定等

今後の委員会、分科会、談義所等の予定

40

8月

9月

10月

市民談義所

- 第9回【8月22日】
(市民と専門家の合同談義)
- ・現地視察
 - ・市民と専門家の談義

- 第10回
- ・第5回技術分科会の報告
 - ・第8回委員会の報告

技術分科会

- 第5回技術分科会
- ・対策の目標について
 - ・施設の機能の整理

委員会

- 第8回委員会
- ・第5回技術分科会の報告

市民が提案する工法等に関するヒアリングの実施状況 41

対 象 者: 市民談義所等で、具体的な対策や工法を提案されている方。

実施時期: 7月中旬～8月上旬

ヒアリング内容(提案の背景、意図):

標準的な形態、事例等、対策工法が持つ機能、
機能を発揮するメカニズム、
機能を発揮できる設置箇所、
安定性・耐久性、壊れた場合の補修、
環境や利用へ与える影響

参考資料

市民・専門家による合同談義所 開催の経緯

《市民意見》

□検討委員会と談義所を一つにしてみては？

(第5回市民談義所アンケート)

□今の談義所に欠けているのは、データを元に論理的に議論を進めるのを助ける人材のような気がする。検討委員会と一緒にするというのも一案だと思う。また、談義所に地元の研究者や技術者が参加しやすい形を作っていったらよいと思う。

(第6回市民談義所アンケート)

□議論を深めるために、専門家、委員会との連携が必要。

(第8回市民談義所)

《委員の意向》

- 資料に記載されている意見の中には、背景をどう捉えたら良いか不明なところがある。市民意見の真意を知りたい。
(第3回技術分科会 佐藤委員)
- 言葉の裏に何があるか、意見の背景も含めて確認して欲しい。
(第3回技術分科会 村上分科会長)
- いつかの段階で談義所と分科会を一緒にやるということも考えるといい。
(第3回技術分科会 佐藤委員)

平成21年度の取り組み

(1) 市民・専門家・行政の連携

- ・市民談義所を通じた連携
- ・海岸よろず相談所を通じた連携

(2) 養浜

- ・石崎浜
- ・動物園裏

行政・市民・専門家、三者一体となって考える

[事業主体] ↔ 関係機関

[宮崎海岸出張所]
(海岸よろず相談所)

- ①市民からの意見をしっかりと聞き止める
- ②市民のなかに出向き意見を聞く

(1) 市民・専門家・行政の連携

市民連携
コーディネータ

【市民】

“宮崎海岸市民談義所
(広く開かれた議論の場)”

《専門家》

“侵食対策検討委員会”
“技術分科会”



行政・市民・専門家、三者一体となって考える

[事業主体] ↔ 関係機関

[宮崎海岸出張所]
(海岸よろず相談所)

- ①市民からの意見をしっかりと受け止める
- ②市民のなかに出向き意見を聞く

市民談義所を通じた連携

(市民 ↔ 行政)

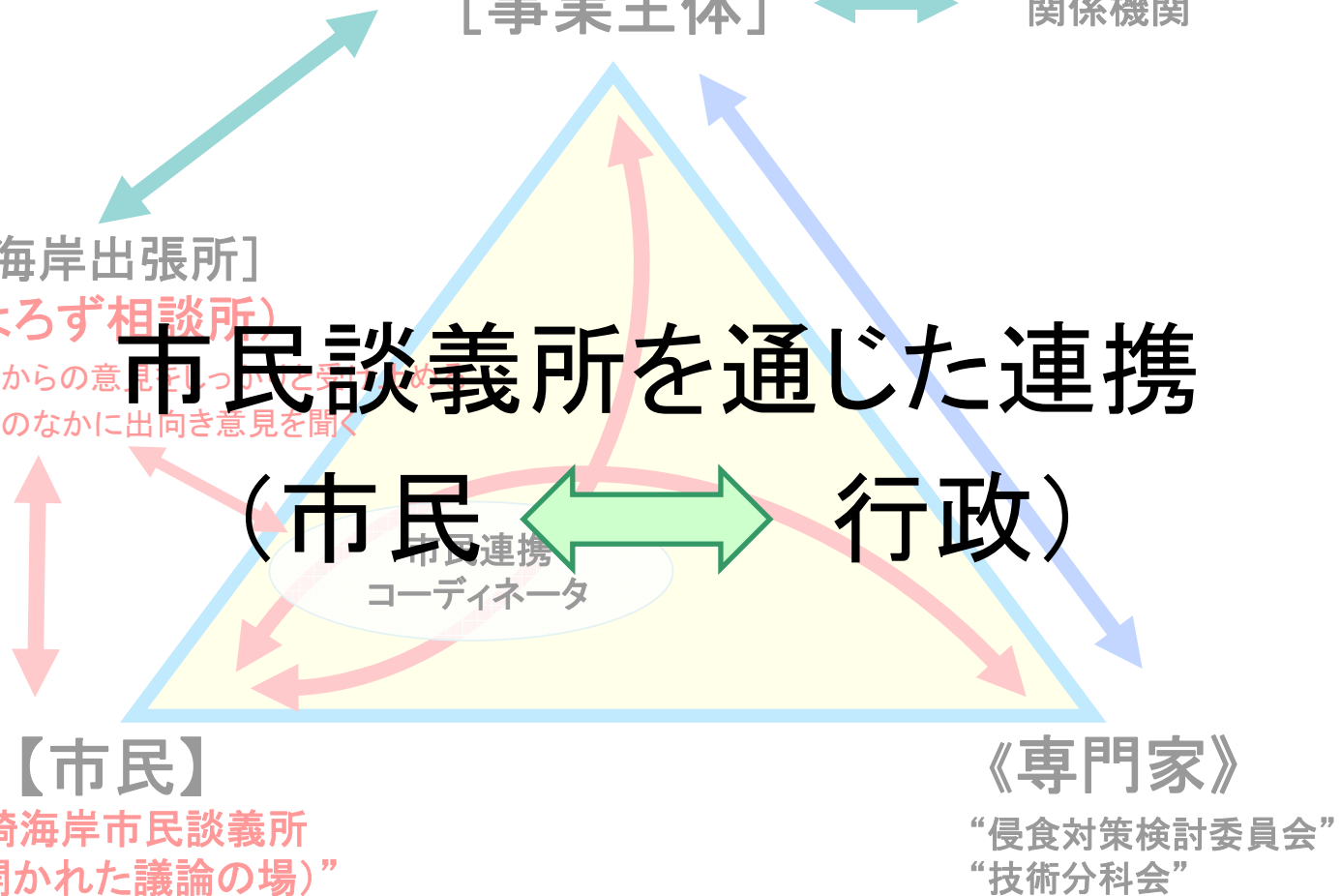
市民連携
コーディネータ

【市民】

“宮崎海岸市民談義所
(広く開かれた議論の場)”

《専門家》

“侵食対策検討委員会”
“技術分科会”



市民談義所の開催状況(1/2)

49

○第1回宮崎海岸市民談義所

(平成21年4月25日(土))

- ・これまでの経緯、今後の進め方
- ・これまでに市民から頂いた意見の追加・補足

○第2回宮崎海岸市民談義所

(平成21年5月30日(土))

- ・これまでに市民から頂いた意見の整理・回答等
- ・「市民が考える、対策の条件・配慮すべき事項」に関するワークショップ

○第3回宮崎海岸市民談義所

(平成21年7月25日(土))

- ・第3回宮崎海岸侵食対策検討委員会技術分科会の報告
- ・「養浜計画(案)」に関するワークショップ

○第4回宮崎海岸市民談義所

(平成21年9月7日(月))

- ・市民による意見発表
- ・H21養浜の検討状況
- ・宮崎海岸をみんなで美しくする会からの報告



意見を航空写真に貼り付ける市民



市民連携コーディネーターによる解説

○第5回宮崎海岸市民談義所

(平成21年10月26日(月))

- ・第6回宮崎海岸侵食対策検討委員会の報告
- ・宮崎海岸をみんなで美しくする会からの報告

○第6回宮崎海岸市民談義所

(平成21年12月9日(水))

- ・台風被害への対応(保安林関係)
- ・H21養浜の検討状況
- ・市民による意見発表
- ・宮崎海岸をみんなで美しくする会からの報告

○第7回宮崎海岸市民談義所

(平成22年2月22日(月))

- ・市民による意見発表
- ・侵食対策の方法について(事例紹介)

○第8回宮崎海岸市民談義所

(平成22年3月23日(火))

- ・第7回宮崎海岸侵食対策検討委員会の報告
- ・市民による意見発表
- ・宮崎海岸をみんなで美しくする会からの報告
- ・「談義ために理解しておきたいこと」「談義所の運営方法等」「海岸に関心を持ってもらうためには」などについてワークショップ



市民による発表



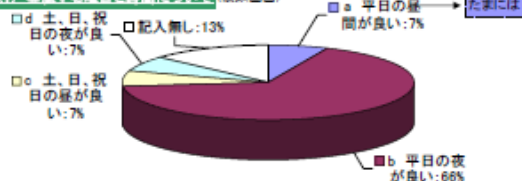
行政から市民への情報提供

参加者のアンケート結果を踏まえた市民談義所の運営

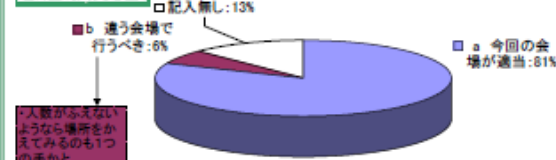
- 第2回市民談義所より、談義所の運営方法について、参加者にアンケートを実施
- アンケートを踏まえて、市民談義所を開催・運営
- アンケートの結果は市民談義所で報告

5. 市民談義所の運営に関して

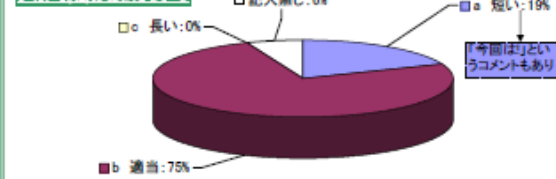
5-(1) 実施する曜日と時間について (複数回答)



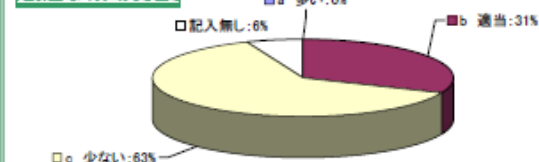
5-(2) 会場について



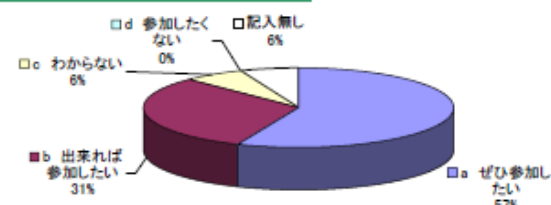
5-(3) 時間の長さについて



5-(4) 参加人数について



6. 次回、市民談義所への参加の意向



7. その他、市民談義所の周知の仕方、進め方等についての意見

<周知の仕方>

特になし

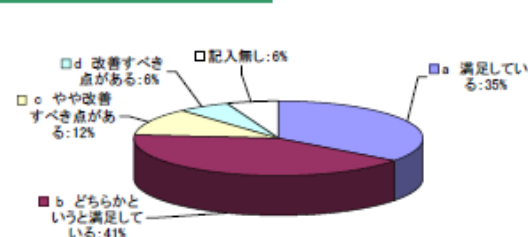
<進め方>

- ・今の進行で意見の集約が出来てくると思う。
- ・検討委員会と談義所を一つにしてみてもいいか？

<その他>

- ・談義所の2日前までに資料の配布はできないのか？海岸出張所に取りに行きますので...
- ・時間も休みの時間をみじかくしてもらってよかったと思った。
- ・かたいイメージもあったが何度か来て勉強にもなったしわきあいあいみたいでよかったと思った。
- ・いろいろ勉強になってよかったと思った。
- ・平日昼間の開催は避けてほしい。(2名)

4. 今回の市民談義所の満足度は？



- a 満足している(複数)
 - ・行政の方々の参加は良いと思います。
 - ・吉岡先生の進行が上手。
- b どちらかという満足している(複数)
 - ・国だけでなく県の職員も多数参加して宮崎全体がやっと動き出した。
 - ・感情的な発言がある(2~3名)
- d 改善すべき点がある(複数)
 - ・検討委員会や技術部会から1人ずつでもきてもらうのが良いと思う。

行政・市民・専門家、三者一体となって考える

[事業主体]



関係機関

[宮崎海岸出張所]

(海岸よろず相談所)

①市民からの意見をしっかりと受け止める

②市民のなかに出向き意見を聞く

市民談義所を通じた連携

(市民 ↔ 専門家)

市民連携
コーディネータ

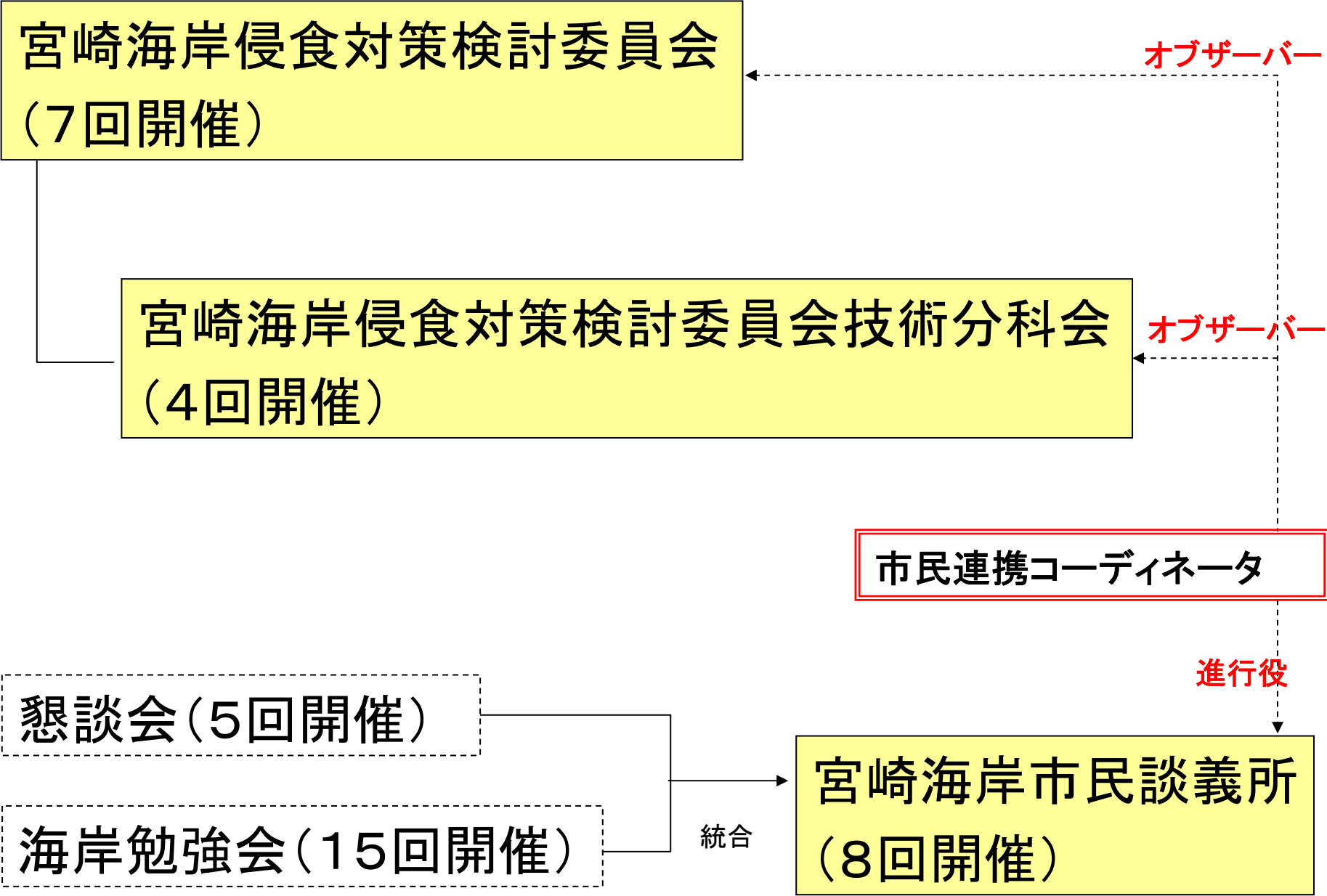
【市民】

“宮崎海岸市民談義所
(広く開かれた議論の場)”

《專門家》

“侵食対策検討委員会”
“技術分科会”

市民連携コーディネータの委員会、技術分科会への参加 53
～宮崎海岸の侵食対策の検討体制～



市民意見の委員会、技術分科会での共有

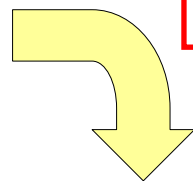
～市民談義所でのWS、技術分科会での意見の確認の様子～

市民談義所



意見を航空写真に貼り付ける市民

市民意見を貼った航空写真を
技術分科会に展示



技術分科会



市民の意見を確認する委員

第6回委員会資料より抜粋

第3～4回市民談義所での養浜計画に関する意見

- 配慮、工夫してほしいこと
- 現状、情報
- 実施してほしいくないこと

場所	意見	対応状況
全体	☐ 養浜は漂砂による自然工法で、宮崎県の土砂は火山性で供給土砂は可能。	基本的に同じ流砂系内の土砂を利用したの養浜を検討した。
	☐ 養浜については構造物、砂浜等によって工程が異なると思われるので区分して考慮すべき。	それぞれの養浜箇所に応じて、養浜の形状、施工方法等を検討した。
	☐ 養浜は毎年実施することになれば莫大な予算が必要ではないか。	コスト削減という観点から、他事業の発生土を利用するなど効率的な養浜方法を検討した。
一ツ瀬川	☐ 養浜と合わせてダムからの土砂の供給量のバランスをとってほしい。 (台風の時などは多めに流すとか、川から自然に土砂が出るようにして欲しい。)	場所の特徴を踏まえた検討についての意見
	☐ 一ツ瀬ダムにたまっている土砂を海岸に持ってきてほしい。	
	☐ 一ツ瀬川からの供給土砂を増やす方法・工法を検討して欲しい。 (川から自然に土砂が出るようにして欲しい。)	

市民意見を踏まえた委員会、技術分科会での検討

～養浜に関する市民意見と対応状況(2/2)～

第6回委員会資料より抜粋

場所	意見	対応状況
石崎浜	☐ (ウミガメの上陸や産卵に配慮して、)養浜工事の土砂量を1/2以下にして欲しい。	ウミガメの上陸や産卵(方法)。また、浜崖は石崎浜で
動物園裏	☐ 動物園の東に道路を確保して、侵食を防ぐ工事を早急にやってほしい。 (養浜は、今(H20実施)よりも北側で実施して欲しい。)	養浜の実施箇所セス性等を考慮して、いも養浜を検討してい
	☐ 養浜工事を段階的に実施する(盛る高さを約1m位)。(3期に分けて養浜を実施して欲しい。分けて実施すれば、崖が形成されず、自然の地形が形成され、ウミガメが登りやすい。)	ウミガメの上陸や産卵に配慮した養浜(形状、方法)を検討した。また、浜崖を解消するための工事も実施していく。(今年度は石崎浜で5月、7月に実施) 養浜の投入方法については、ウミガメの上陸や産卵への影響、養浜の効果、施工性を確認し、実施箇所に応じた最適方法を見極めていく。
	☐ 養浜不要でないか。(浜崖ができる陸上の養浜ではなく、すぐ近くで海中養浜をやっているのだから、同様に海中に入れたらどうか。)	
	☐ 動物園から海へとつづく道路の場所が侵食がはげしいので、大きな台風で海水の侵入が起こりそうで心配。	養浜の実施箇所については、防護上の優先度、施工時のアクセス性等を考慮して検討した。動物園裏のボックス周辺部についても養浜を検討していく。
動物園沖	☐ 動物園沖の船からの養浜は、もっと北で実施してほしい。基本、南に流れる為。	養浜の実施箇所については、漁業関係者とも調整を行ないながら検討した。実施箇所については、モニタリング調査結果も確認しながら検討を行っていく。

アカウミガメへの
配慮について
の意見

行政・市民・専門家、三者一体となって考える

[事業主体] ↔ 関係機関

[宮崎海岸出張所]
(海岸よろず相談所)

- ①市民からの意見をしっかりと受け止め
- ②市民のなかに出向き意見を聞く

市民談義所を通じた連携

(行政 ↔ 行政)

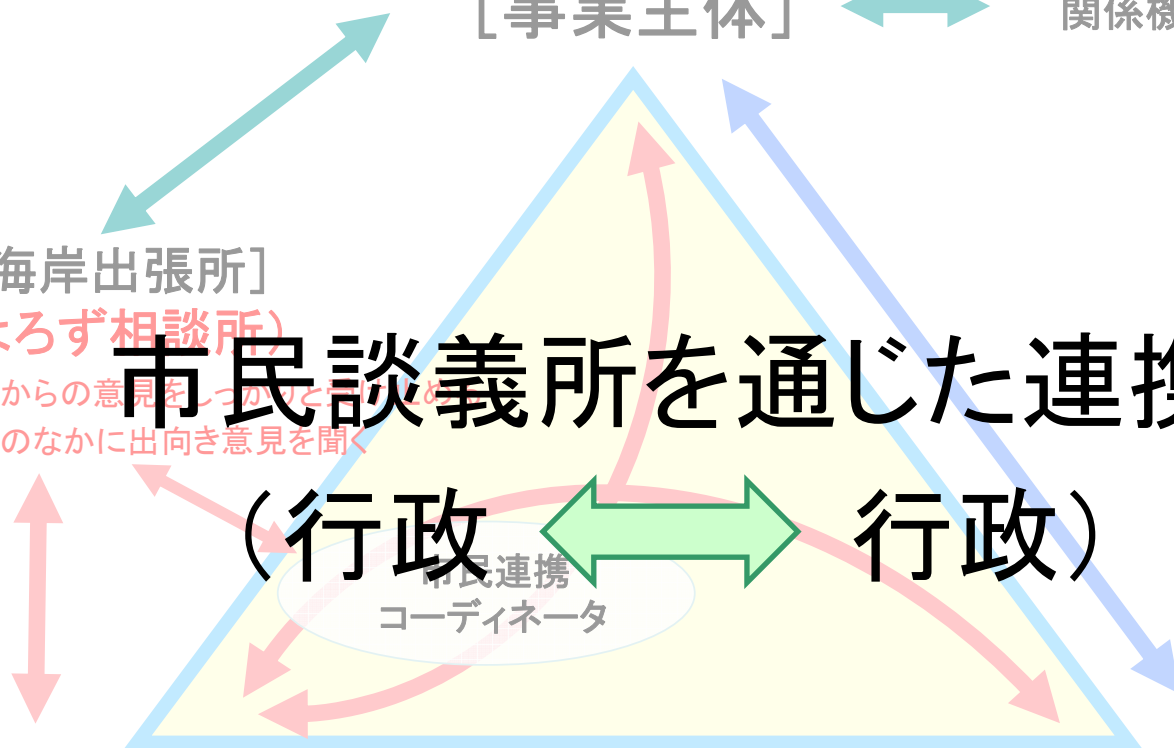
市民連携
コーディネータ

【市民】

“宮崎海岸市民談義所
(広く開かれた議論の場)”

《専門家》

“侵食対策検討委員会”
“技術分科会”



関係機関の市民談義所への参加、情報共有

～これまでの市民談義所参加者～

○一般参加者

地元住民、海岸利用者 他

○国土交通省

宮崎河川国道事務所、宮崎港湾・空港整備事務所

宮崎海岸出張所

○宮崎県

河川課、港湾課、自然環境課、農村整備課

宮崎土木事務所、中部港湾事務所、中部農林振興局

○宮崎市

土木課、佐土原総合支所

○関係コンサルタント

行政・市民・専門家、三者一体となって考える

[事業主体] ↔ 関係機関

[宮崎海岸出張所]
(海岸よろず相談所)

- ①市民からの意見をしっかりと受け止める
- ②市民のなかに出向き意見を聞く

よろず相談所を通じた連携

(市民 ↔ 行政)

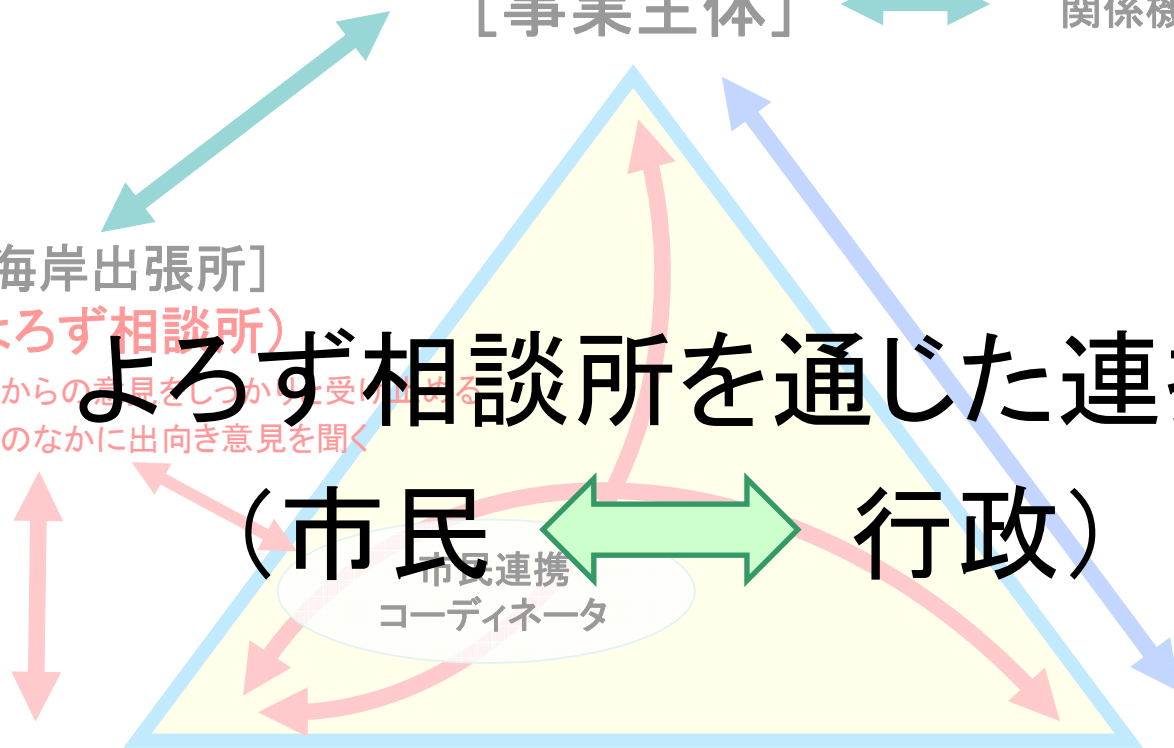
市民連携
コーディネータ

【市民】

“宮崎海岸市民談義所
(広く開かれた議論の場)”

《専門家》

“侵食対策検討委員会”
“技術分科会”



地域の窓口としての海岸よろず相談所の活動

60

～出前講座の実施、地域活動への参加～



081116 ホンダロックビーチクリーン



090526 国富町婦人会来所



091010 広瀬西小学校区海岸ウォーキング



091110 住吉小学校出前講座

～よろず便りの発行～

- 海岸の現状、地域と協働した活動、談義所の開催予定などについて情報提供
- 回覧板等により、地元住民に配布、HPに掲載
- 毎月1回程度発行

第12号

H21.11.20発行

海岸よろず相談所だより 第12号

記事

- ◇清掃活動報告！
- ◇住吉小学校4年生を対象に出前講座を行いました！
- ◇『宮崎海岸市民談義所』開催のお知らせ

清掃活動報告！

10月の台風14号、18号の波浪で海岸にはたくさんのゴミが打ち上げられていました。

10月31日（土）には石崎浜で、㈱ホンダロックが社会貢献活動の一環として海岸清掃を行いました。一般の参加者も含めると約100人が汗を流しました。

11月8日（日）の早朝からは、「きれいなまちづくりをみんなの手で」のスローガンのもと、多数の参加者が『第29回市民一斉清掃』を行いました。清掃は、宮崎海岸でも動物園東側の海岸、石崎浜や大炊田海岸で行われました。

動物園東側の海岸では、清掃が始まると、海に入っていたサーファーの方々も海からあがって参加しました。

これからも、海岸だけでなく道路や河川あるいは公園など、きれいなまちづくりのため、みんなで力をあわせましょう。

㈱ホンダロックの海岸清掃の様子（10月31日（土））【石崎浜】

清掃の様子 清掃後の海岸 一日で集められたゴミ

市民一斉清掃の様子（11月8日（日））【動物園東側の海岸】

清掃の様子 清掃前の海岸 清掃後の海岸

これからも、きれいな海岸であり続けて欲しいですね。

裏面へつづ

住吉小学校4年生を対象に出前講座を行いました！

11月10日（火）に、海岸よろず相談所が住吉小学校の4年生を対象に出前講座を行いました。

ウミガメの保護活動の取り組みを教材に、『『環境を守る工夫』について情報を集め、分かったことを紹介しよう』ということが目標でした。

授業では、まず、中島さんが、宮崎海岸におけるアカウミガメの保護の状況などを説明しました。

また、海岸よろず相談所所長の中村が宮崎海岸と人や生きものとの関わり、海岸侵食の状況、私たちにどうして宝物である砂浜を守らなければいけないことを説明しました。

その後、こどもたちとインタビュー形式の質疑を行いました。「なぜ、アカウミガメの保護活動をはじめたの？」などの質問がたくさん出されました。質問のひとつひとつお答えしているうちに、あっという間に時間が来てしまいました。

また呼んで頂けることを楽しみにしています。

出前講座のご要望がありましたら、ご遠慮なく海岸よろず相談所までご連絡ください。

当所の中村は、初？の先生役 細かくメモをとる生徒 たくさん質問を頂きました！

『宮崎海岸市民談義所』開催のお知らせ

第6回目の談義所を以下の日程で開催しますのでご案内します。

談義所では、宮崎の大切な財産である宮崎海岸の侵食対策について、活発な談義が行われています。

だれでも参加できますので、みなさんも参加してみませんか？

- ◇日時：平成21年12月9日（水）19時00分～21時
- ◇場所：佐土原総合支所 2階 研修室
- ◇議題：市民のみなさまによる意見発表 他

みなさまの暮らしや活動と海岸との関わり、海岸への思いを発表してみませんか？

意見発表を希望される方は海岸よろず相談所までご連絡下さい。

◇問い合わせ：海岸よろず相談所
（連絡先は最下段に記載しています。）

海岸に関するご相談やご意見、ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051
〒880-0211 宮崎県宮崎市佐土原町下田尾 9515-6

※宮崎河川国道事務所ホームページ
<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）
<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

にご連絡下さい。

地図

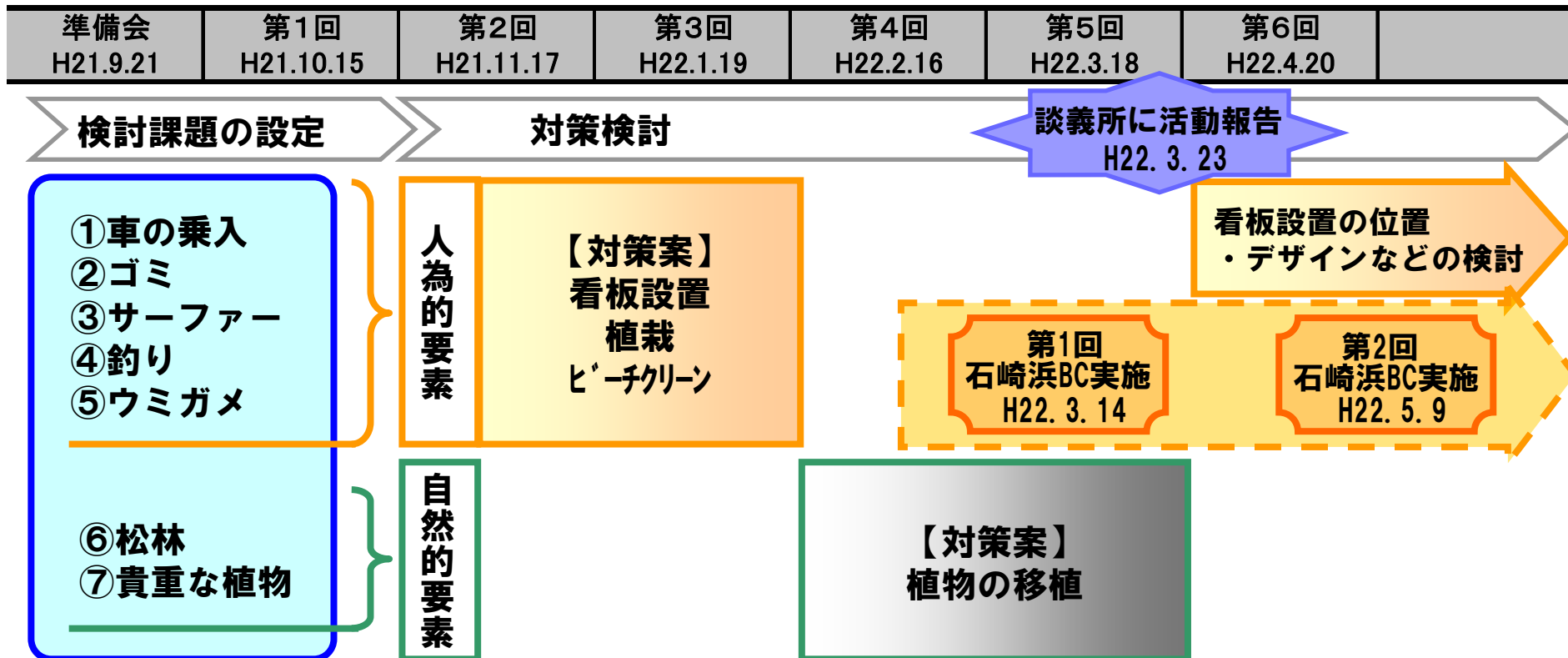
市民との新たな取り組みの開始

～『宮崎の海岸をみんなで美しくする会』の設置、参加(1/2)～

「美しくする会」ではさまざまな立場のひとが集まり、海岸利用のマナー向上についてお互いの考えていることを共有しながら談義しています。

これまでの活動では、海岸利用のマナー向上について7つの課題を設定し、それらを2つの要素に分けて対策のアイディアを出しあい、現在4つの対策案を実施する方針としました。今後は、これらを実施するための具体的検討とビーチクリーンを継続して実施していく予定です。

談義では、「たくさんのひとに海岸へ関心をもってもらうためにはどうすればよいか？」といった言葉が頻繁に出ており、この言葉を念頭に談義が行われています。



市民との新たな取り組みの開始

63

～『宮崎の海岸をみんなで美しくする会』の設置、参加(2/2)～



現地調査の様子〔第1回：H21. 10. 15〕



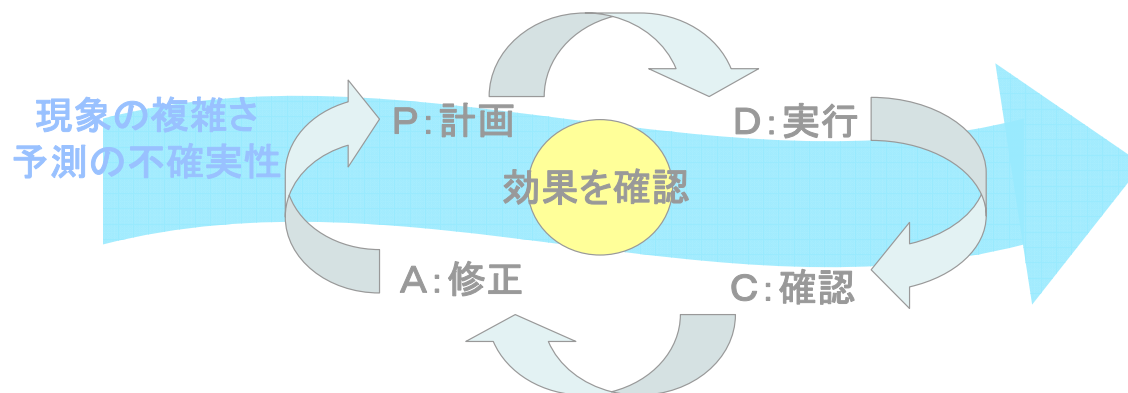
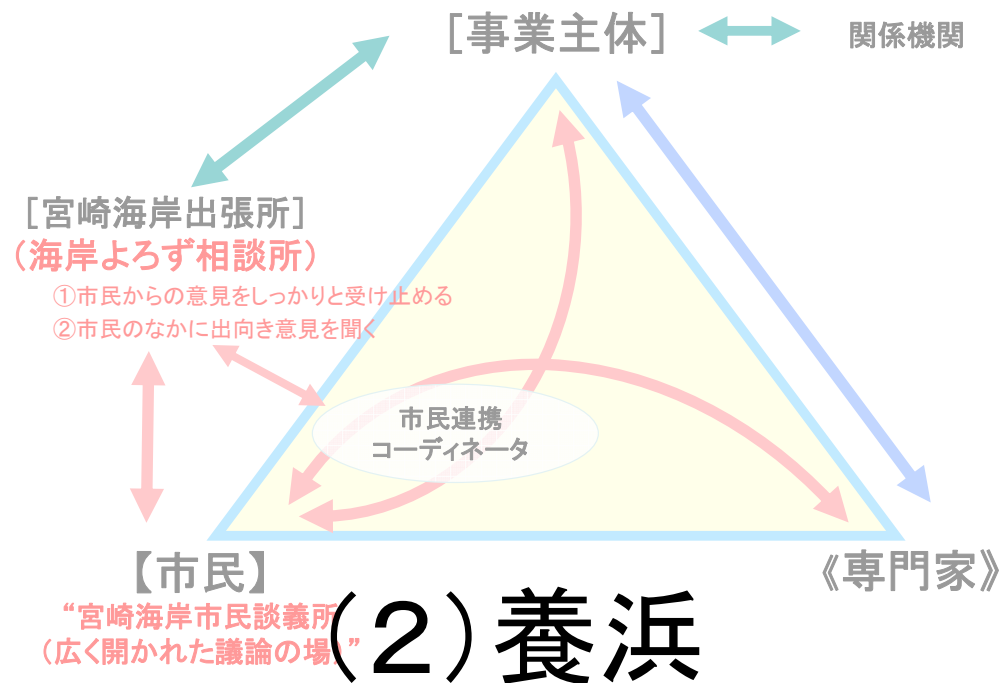
写真を囲んでの談義〔第4回：H21. 2. 16〕



石崎浜ビーチクリーンの実施〔H22. 3. 14〕



石崎浜ビーチクリーンの実施〔H22. 5. 9〕
取材もあり、報道されました。



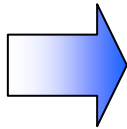
石崎浜

モニタリング結果、市民の意見を踏まえた養浜 ～平成20年度養浜の改良(アカウミガメに配慮)【石崎浜】～

アカウミガメの産卵期をむかえる前に、上陸や産卵に影響がある段差(浜崖)を、人力により解消。



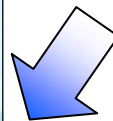
石崎浜に生じた段差(5月中旬)



【施工中】 人力により段差をならす作業



【施工後】 ウミガメが上りやすい砂浜へ



○モニタリング結果、市民の意見を踏まえて
養浜の形状を検討。

計画を修正・改善



宮崎海岸
ステップアップサイクル

モニタリング結果、市民の意見を踏まえた養浜 ～平成21年度養浜(アカウミガメに配慮)【石崎浜】～

段差(浜崖)形成の要因となっている表層の土砂を海側に押し土。

段差(浜崖)

ウミガメの上陸、産卵に影響

○養浜イメージ

砂浜を覆う土砂を海に押し出し、
段差が形成されにくくする。

海面

○モニタリング結果、市民の意見を踏まえて
養浜の形状を検討。

計画を修正・改善



宮崎海岸
ステップアップサイクル

動物園裏

関係機関と連携した養浜の実施

69

～国の河川事業、保安林と連携【動物園裏】～

H21台風14号、18号による被害

住吉IC前



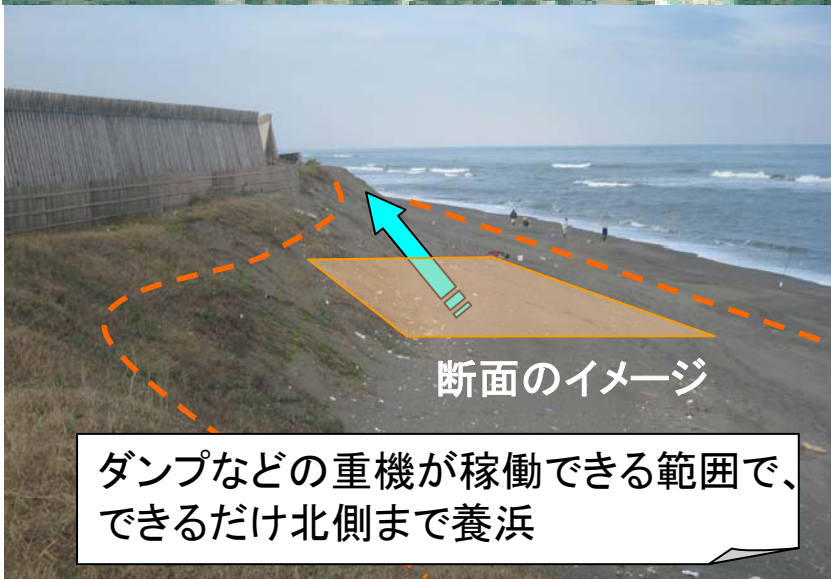
撮影日H21.10.8 12:00頃



関係機関と連携した養浜の実施

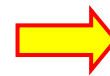
70

～保安林と連携【動物園裏】～



○当初予定していた区域を変更し、浜崖が
後退、保安林が被災した自然浜区域に
養浜を実施。

計画を修正・改善



宮崎海岸
ステップアップサイクル

○保安林担当部局は当面、状況を観察。

関係機関と連携



宮崎海岸トライアングル